

令和7年秋から 指定ごみ袋の色が変わります

市では、ごみステーションに出されたごみを確認しやすくする「**ごみの見える化**」のため、**ごみ袋の色を変更**します。

変更時期

令和7年秋ごろ 

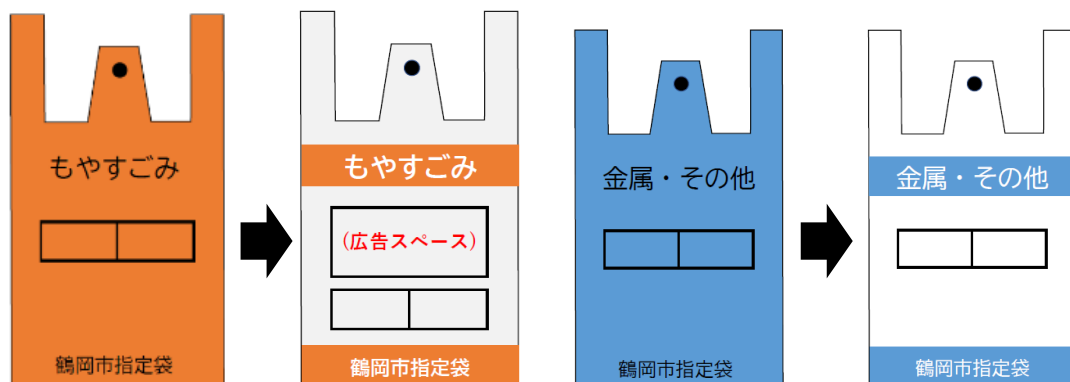
※在庫状況によって順次販売となります。

色が変わるもの

もやすごみ、金属・その他

※桃・黄・緑の袋の色変更はありません。

※色が変更になった後も、従来のごみ袋は利用できます。



茶色から乳白色

青色から透明

「ごみの見える化」による効果は？



1. ごみの減量化・資源化の促進

家庭から出される「もやすごみ」には、古紙類・プラスチック製容器包装類など、分別すれば資源となるものが多く含まれていることから、「ごみの見える化」によりごみに対する意識が変化し、ごみの適正な分別が促進されると考えられます。

もやすごみサンプル調査
についてはこちら→



2. ごみ処理施設で発生する トラブルの回避につながる

「もやすごみ」の処理が行われているごみ焼却施設には、焼却できない鉄線など金属類の混入が多く見受けられており、焼却炉の中で燃え残り、灰を押し出す装置を詰まらせる原因になります。最悪の場合、焼却炉の長期的な停止になり、ごみの受入れができなくなるおそれがあります。

金属類の混入
についてはこちら→



3. 事故防止につながる

ごみステーションから回収されたごみの中には、スプリングやLPガスボンベなどの「市では処理ができないごみ」や、分別間違いのごみが出されている現状であり、場合によっては、ごみ収集車の火災や処理機械の損傷、作業員のケガなど重大な事故が発生するおそれがあります。

市で処理できないごみ
についてはこちら→



安心・安全なごみの処理のため、引き続き適正なごみ分別のご協力をお願いします！



記事に関するお問合せ 環境政策課(0235-22-2848)

エコ通信カラー版を市HPへ掲載しています【トップページ＞都市整備・環境＞環境・エネルギー＞環境広報「エコ通信」】

エコ通信

No. 70
2025 夏号
鶴岡市市民部
環境政策課



カラスのフン被害等と注意について

近年、特に市街地でのカラスのフンによる道路の汚れや臭いなどにより、私たちの生活に影響を及ぼしています。

市では、対策協議会の開催などにより“フンで汚れた道路”や“電線に止まるカラス”、“電柱にできた巣”などに対し少しでも被害を軽減するため対策に取り組んでいます。

一方で、カラスも野生鳥獣で生態系の一部であり、住み分けできることが理想です。カラスの生態を学び、共存できる道も考えてみましょう。



カラスの巣作りについて(市 HP)

【カラスに近づかないようにしましょう】

5月～7月はヒナが巣立つ時期です。親ガラスがヒナを守るために神経質になるため威嚇・攻撃されないよう注意しましょう。

町内会・自治会で行う共同防除(薬剤散布)への支援を今年も行います

市では、アメシロ防除のため共同で薬剤散布を行う町内会・自治会に対し、薬剤及び散布機器の貸出しを行っています。

【貸出し時期と内容】

時 期	内 容
5月13日(開催済)	・ 事前説明会 ・ 申込順を決める抽選会
6月初旬～7月中旬	・ 1 化期
8月中旬～9月中旬	・ 2 化期

「アメシロ相談室(旧赤川地区浄化センター/羽黒町赤川字村下/☎0235-62-5281)」へ物品を受け取りに来る際は、**必ず2人以上**でお願いいたします。物品の積み下ろしは、町内会・自治会のみなさまご自身で行っていただきます。

巣虫防除のすすめ

個人で防除を行う場合は「巣虫防除」が最も効果的です。庭先などを見回り、徹底した自主防除を行いましょう。防除が遅れると、分散し周辺の樹木が被害を受けますので、早期発見に努めましょう。

巣虫防除の方法

枝切りバサミなどで巣虫ごと枝を切り落とし、幼虫を踏み潰しましょう。もやすごみ(茶色袋)として出す際は、幼虫が這い出ないように袋の口をきっちり閉めて下さい。

※高枝切りバサミは「アメシロ相談室」で貸し出しています。個人に対しても貸し出しますので、ご相談ください。



巣虫防除について(市 HP)

●問合せ先:環境政策課(つるおかエコファイア3階/☎26-0139)